

プログラミング学習

4年2組の算数の授業で、プログラミングを取り入れた学習をしていました。単元は「割合」なのですが、「直角三角形をプログラミングしよう」というめあてのもと、条件に合わせて、「何の何倍」という割合の考え方をうまく使って、タブレットで命令文を作成し、mBot(プログラミングロボット)を動かします。子供達は、mBotを動かすために、集中してタブレットに向かい、一生懸命プログラミングを行います。昨日、10月6日の呉市教育長学校訪問時は、体育館で「割合を使って1m先の円の中にロボットを入れよう」というめあてのもと、その成果を披露していました。今後、校内研修でもこの実践を共有していきます。

